

琉球弧を再び戦場にさせない!

沖縄・与那国島はいま... 10.3 横浜集会

沖縄・うるまからの訴え



沖縄・辺野古では、民意を無視し、知事権限をも奪い、希少なサンゴを踏みつぶして、大浦湾側の埋め立て工事が本格化しつつあります。米兵による性暴力と政府による情報隠蔽も、新たに暴露されました。

日米両政府一体となった琉球弧の軍事要塞化の動きに抗う沖縄の人々の闘い、地域ぐるみの闘いで陸自訓練場建設計画を白紙撤回させたうるま市民の闘い、そして「台湾有事」キャンペーンの最前線・与那国島の現状を報告していただき、琉球弧の戦場化を阻むために私たちに何ができるかに考えたいと思います。多くのおみなさんの参加を呼びかけます!

報告：与那国島はいま



▲新たな港湾整備(軍港)が計画されている与那国島比川地区の樽舞湿原。環境省が生物多様性の観点から「重要湿地」に選定している。

照屋 寛之さん

(てるや ひろゆき) →

「ミサイル配備から命を守るうるま市民の会」「うるま市島ぐるみ会議」共同代表・沖縄国際大学名誉教授。防衛省は、うるま市内にある陸自勝連分屯地に地対艦ミサイル部隊の連隊本部が23年度強行配備された。他方、同市内に計画された陸自訓練場建設は、本年4月、地元住民の反対運動で白紙撤回された。戦場化に反対する沖縄現地の取組みを報告していただく。

大仲 尊さん

(おおなか たかし) →

与那国島出身。現在、東京都内在住、沖縄・一坪反戦地主会関東ブロックで活動。与那国島は2016年に陸自監視部隊が配備されたから、電子戦部隊も追加され、現在ではミサイル部隊配備や基地拡張、新たな軍港整備計画が浮上。島で暮らす人々を蔑ろにした要塞化の進行を告発する。

10月3日(木)18時半

【会場】 横浜市技能文化会館

2階多目的ホール1 →



主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会

協賛：神奈川平和運動センター/原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議

連絡：090-4822-4798 深沢(沖縄講座@横浜) 資料代：800円(学生無米)